

特集 令和7年度 施政方針



施政方針の
全文はこちら

5月22日、宝塚市議会にて森臨太郎市長が市政運営に向けた基本的な考え方と今年度の主な施策を示す施政方針を表明しました。その概要をお伝えします。

企画政策課

(TEL) 77・2001 (FAX) 72・1419

世界は今、気候変動や地域紛争、少子高齢化、物価高騰など、大きな変動期を迎えています。宝塚市も重大な分岐点に立つ今こそ、私が公約に掲げた「ひとりひとりにやさしい、ささえあいのまち宝塚」という目標を見失うことなく、市政の軸を貫くことが重要です。その実現には、これまでの経緯や現状を丁寧に分析・評価し、市民の皆さんや専門家の力を結集して、中長期的な視点を持って改革を進めていく必要があります。

また、新しいものを次々と導入するのではなく、さまざまな人の意見や経験、データや質の高い情報を生かし、十分な分析と検討を重ねた上で、自然や歴史ある資源を最大限活用することが、新しい宝塚への道しるべとなります。

その中で、私は宝塚市長として、次の3つの政策の柱を掲げ、市政運営に取り組みます。

森臨太郎

①いのちを守るまち

市立病院の建て替えについては、医療、福祉、介護、保健に係る事業を総合的に改革する好機と捉えています。その実現に向けて、医師としての経験やつながりを生かし、それぞれの資源のネットワークを構築したいと考えています。

例えば、医療と保健の連携による健康増進の取り組みのように、各分野を緊密に連携させるとともに、民間との連携強化も同時に進めることで、市民の命と健康を守る機能をより一層高めます。

また、ネットワークの構築によって運営効率が高まることは、大きな財政負担となっている市立病院の経営改善とともに、行財政改革にも寄与することが期待されます。

②暮らしを支えるまち

子育て支援や高齢化、まちづくり政策の知識と経験を生かし、全

令和7年度 予算案

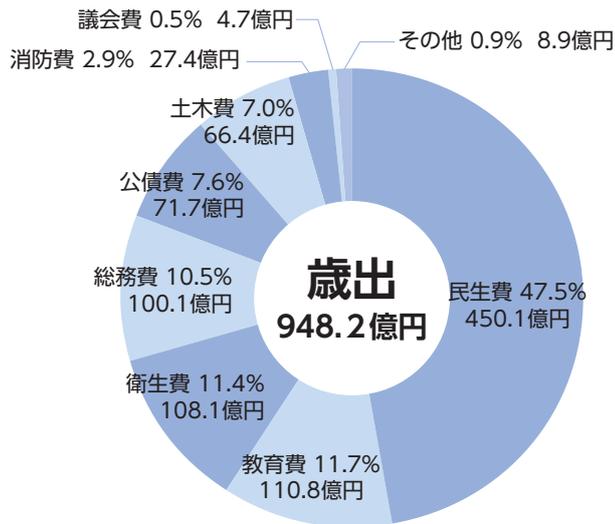
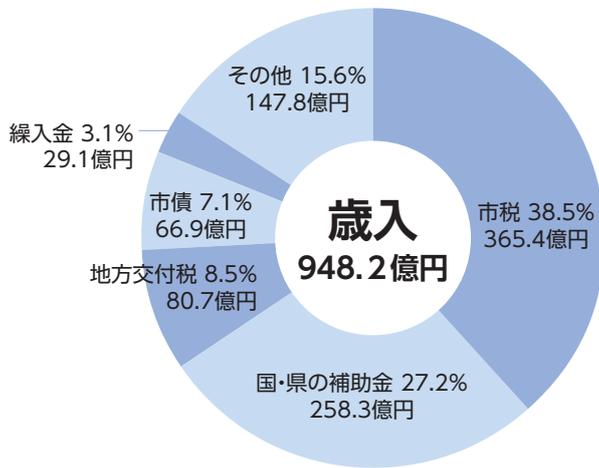
一般会計948.2億円
(前年度比+42.7億円)

令和7年度の一般会計の予算規模は948.2億円で前年度当初予算と比較すると42.7億円の増となりました。

歳入では、基金のとりにくし額などの減により繰入金が増えた一方、国庫支出金や市債の増加を見込んでいます。

歳出では、都市計画道路競馬場高丸線整備事業の減などにより土木費が減少した一方、児童手当事業、自立支援事業、施設型等給付事業などの民生費の増加や新ごみ処理施設整備事業、予防接種事業などの衛生費の増加を見込んでいます。

※予算額は令和7年度6月補正予算後の金額で表示しています



※四捨五入により合計は一致しません

主な事業は
4～5面

③ 未来につづくまち

市民参加型の行財政改革の経験を生かし、一人一人が「わたしたちの創ったまち宝塚」と実感できるよう、市民の皆さんとの定期的な対話の場を設けます。また、市の財政において大きな割合を占める民生費を含む全ての事務事業を公平・公正・透明に整理しつつ、市の施設を活用した賑わい創出や経済循環を活性化するための施策も推進します。

以上の3つの柱を踏まえ、私たちの宝である子どもたちが、それ

の世代が安全に、安心して自分らしく暮らせる環境を整備します。具体的には、乳幼児期から青年期まで各ステージの子どもとその家族を地域で温かく見守ることのできる環境作りや、公共交通のあり方の検討、老朽化が進む公共の施設やインフラの適切な維持管理や活用策の創出にも取り組みます。

市民と市長の対話ひろば ～もりりんと語ろう、宝塚市の未来～

市の方向性を決める重要な課題について、定期的に、市民の皆さんと市長が対話する場を設けます。ぜひご参加ください(申込不要)!

※詳細は二次元コードまたは本誌7月号をご覧ください

7月のテーマ

「ひとりひとりにやさしい、ささえあいのまち宝塚」

日 7月①12日(土)②17日(木)③24日(木)④30日(水)

場 ①中央公民館②西谷会館③東公民館④西公民館 保手あり

問 市民相談課(☎77・2003 FAX77・2086)



それぞれの個性が尊重されながら健やかに成長し、誇りや夢、希望を持って社会生活を営み、ありのままに自分らしく生きる。そして、歴史ある文化と豊かな自然に包まれながら、終の棲家として安心して暮らすことができる。そんな宝塚を、皆さんと創っていきたくと考えています。

※議会での審議結果により、掲載内容が変更となる場合があります

都市経営

新規 市民と市長の対話の場 138万円

医療・福祉・介護のネットワーク構築や移動手段などに関するニーズの把握に向けた取り組みのほか、市が抱える課題について、市民や専門家と対話する場を設け、施策の方向性を検討します。

新規 市ホームページをリニューアル 460万円

必要な情報を簡単に取得できるよう、市ホームページをリニューアルし、市の情報発信の強化を図ります。



中山五月台中学校の受水槽

安全・都市基盤

新規 水道基本料金を減免 3億44万円

国からの交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける市民・事業者への経済支援として、令和7年第3期(8・9月検針分)の水道基本料金を減免します。

道路のバリアフリー 3,740万円

全世代に優しい交通環境の整備として、市道宝塚長尾線の一部で歩道のバリアフリー化工事を実施します。

避難所の環境改善 2,122万円

災害時に避難所となる市立小中学校において、各校の受水槽から速やかに応急的な給水が行えるよう、応急給水栓を設置します。

健康・福祉

新規 救急の相談窓口を設置 832万円

救急車を呼ぶべきか迷った際に、アドバイスを受けることができる電話相談窓口(#7119)を設置します(県・市共同運営)。

新規 非常用電源購入費を助成 500万円

災害などによる停電に備え、人工呼吸器を常時使用する障碍がいのある人に非常用電源の購入費を助成します。

拡充 産後ケア事業の拡充 2,155万円

利用可能期間をこれまでの産後6カ月未満から、産後1年未満に延長します。



の 主要な 事業

子ども・教育



新規 GIGA用タブレット等の更新 **13億3,348万円**

児童生徒用タブレット端末やデジタルドリルについて、令和8年度の更新に向けて事業者を選定し、個別最適な学びと協働的な学びを推進します。

給食費の補助 **1億1,610万円**

国からの交付金を活用し、食材購入費の高騰分を市が負担することで、子育て世帯を支援します。

環境

新ごみ処理施設の整備 **24億8,314万円**

新ごみ処理施設の建て替え整備のうち、今年度はエネルギー回収型廃棄物処理施設について、建築工事を中心に引き続き整備します。

拡充 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 **1億1,512万円**

住宅や事業所の太陽光発電設備や省エネルギー設備などの導入費を助成します。また、中央図書館やベガ・ホールなどの空調を高効率な設備に更新します。



観光・産業・文化

新規 農業機器の購入支援 **100万円**

農業者や集落営農組織などを対象に、市内の農地で利用するトラクター、農業用ドローンなど農業用機械の購入費の一部を補助します。

観光振興・宣伝事業 **2,016万円**

大阪・関西万博に合わせて、空港や会場でのブース出展などにより市の魅力をPRすることで旅行客を誘致し、地域経済の活性化につなげます。

令和7(2025)年度